

# 史跡『名越切通』～地域に根ざした歴史遺産の整備と活用に向けて～

神奈川県 逗子市教育委員会

名越切通は、吾妻鏡に「名越坂」として記され、中世都市鎌倉をとり囲む山なみの東南部を山頂部において開渠状に掘削し、逗子、三浦半島へと通じる古道で、所謂鎌倉七口の一つとして、他の切通同様、鎌倉の地勢とその外部との連絡状況を示す重要な史跡であります。昭和41年4月11日に国史跡指定されて以来、56年、58年と2回の追加指定を受け今日にいたります。その間2度の保存管理計画を策定し整備の基本方針を示すとともに、史跡全域の歴史公園化に向け公有化を推進してきました。平成16年には、第一切通部分における大規模な保存工事が完了しました。また、「名越切通整備基本計画」を策定し、今後の保存整備、公開活用に向けた事業計画がまとまりました。

計画では、短中長期の段階的な整備を実施し、保存工事が終了した時点で可能な限り、早期公開に努めます。

各種調査が必要なエリアについても、調査や工事の過程を積極的に公開し、長期的には、史跡にきた方の理解を助け、情報発信、体験学習等を行うガイダンス施設の建設、周辺整備を実施していきます。

## 整備の基本方針～整備のコンセプト～

- 歴史遺産の保存・継承
- 歴史的風土探勝の場の整備
- 郷土意識の向上
- 緑地帯の保全
- 豊かな市民生活の向上

## 整備基本計画～段階的な整備と公開活用～

短期整備～2009年度

- 遺構（やぐら、切通、大切岸等）の保存整備工事
- 便益施設、園路、説明板・案内板等の整備
- 指定地における主要な遺構の分布エリアの公開
- まんだら堂やぐら群平場の考古学調査の実施

中期整備～2012年度

- まんだら堂やぐら群平場の調査結果に基づく遺構の表現整備と公開エリアの拡大

長期整備～2015年度・・・

- ガイダンス施設の建設
- 周辺整備（駐車場、アクセス道路等、周辺整備）

\*年次計画は目標で、状況に応じ延長されます。



逗子市教育委員会では、名越切通の地下遺構の分布状況を確認するため、これまで数次にわたって部分的な発掘調査を実施しています。

### まんだら堂やぐら群

まんだら堂やぐら群は、周辺部を含めると約 150 穴以上ものやぐら（中世の横穴式のお墓）からなる鎌倉地域でも有数の大規模なやぐら群です。

やぐら群前面の平場は、主にやぐら掘削の際に発生した土砂で斜面を埋め立てて造成されていることがわかりました。平場の一部では柱穴なども見つかり、付近に何らかの建物があったと考えられます。また、遺体を火葬した跡なども発見されました。

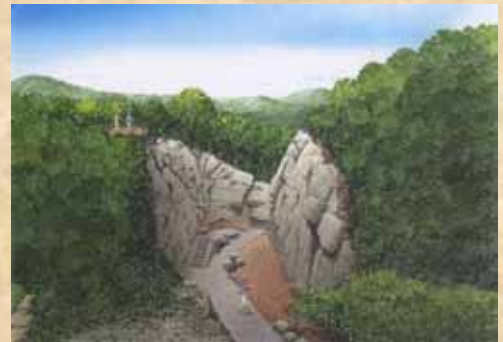
やぐら群は、13 世紀末頃（鎌倉時代の終わり）から掘り始められ、ほぼ 15 世紀いっぱいまで供養などが行われていたと考えられます。



まんだら堂やぐら群整備後のイメージ図

### 切通路

現在の路面の下に古い道路面が見つかりましたが、それは江戸時代以降のもので、鎌倉時代の道は今のところ確認されていません。第 1 切通の現路面から約 8 メートル上の壁面で、崩れかかったやぐらが新たに発見されていますので、中世の切通路は現在よりもかなり高い位置を通っていたと考えられます。



第 1 切通整備後のイメージ図

### 大切岸

大切岸は、高さ 3～10m の断崖が 800m 以上にわたって連なる遺構で、鎌倉幕府が三浦氏の攻撃に備えるために造った、鎌倉時代前期の防衛遺構と言われていますが、はっきりしたことはわかっていません。

大切岸の前の平場では、大規模な石切場の跡が確認されました。石切の時期はおおよそ中世のことと思われ、切り出された石材は鎌倉の街中で建物の基礎などに用いられたと考えられます。



大切岸整備後のイメージ図

逗子市教育委員会 教育部  
生涯学習課 文化財保護係

TEL : 046-873-1111 FAX : 046-872-3115

E-mail : gakusyuu@city.zushi.kanagawa.jp